NIE実践報告

1．タイトル：自ら学ぶ力を育てるために

2．学校名

山梨県山梨市立山梨北中学校

3．実践者名（代表者名）

鮎澤智美

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語・社会　157人

6．単元（本時の学習課題）名

みんなで選ぶ今年のトップニュース

7．目標(狙い)

相手を意識して自分の考えを話し、話し手の意図を考えながら内容を聞き取る。

8．評価の視点

友達の選んだ記事の内容と選んだ理由を聞き取りながら、クラスのトップニュースを選ぶことができる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

書くこと（2時間）　話す聞くこと（2時間）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

社会科で行っている新聞ノートを使って、横断的に国語科で行った学習活動。
1時・・・4月から11月まで自分が選んで感想を書きためた記事の中から自分のトップニュースを決める。
2時・・・内容と選んだ理由を3段落構成で書く。
3時・・・4人グループで発表し合い、グループのトップニュースを選ぶ。クラスの10大ニュース決定。
4時（本時）・・・グループの代表者による発表。
①代表10人による発表（その際なぜグループから選ばれたか推薦者も言葉をそえる）。
②聞きながらクラスのトップニュースを選ぶ。
③投票により決定。
④山梨日日新聞の記者に、話をしていただく。年末に発表される県内・スポーツ･国内の10大ニュースがどのように決定されているのか知る。
・授業参観で行い、NIEについて、また生徒達が新聞を通してどんな考えをもっているのか保護者に知らせる機会とした。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・いろいろな人の発表を聞いて「ああ、これ知ってる」とか「こんなこともあったんだな」などとてもおもしろく楽しかったです。これからもっと新聞を読みたくなりました。
・この授業で新聞のおもしろさを知ることができました。これからは積極的に読み、世の中のことをもっと理解

12．成果と課題

（成果）
①機会があって新聞を読み出すと、生徒は新聞を読むことがおもしろいと感じるということ。
②印象に残った記事を選ぶ時点で、生徒の人柄が出るということ。新聞記事は生徒の考え方を形成したり意見を持たせたりするのに役立っている。
③一つの記事が教材となり、考え方の交流ができる。個に応じた題材が選べるので、学習内容や目標が同じように設定でき、生徒は他の生徒の考えから学び合う場面がつくりやすい。